

	基礎・基本の内容	身につけ方・評価の方法
国語科	<p>1 (古文) 古文の冒頭部分をすらすら暗唱できる。 第1学年「竹取物語」冒頭 第2学年「平家物語」冒頭 「枕草子」冒頭 第3学年「おくのほそ道」冒頭</p> <p>2 (文法) 言葉の単位「文節と単語」を理解し、「文の成分」「品詞」をそれぞれ見分けることができる。</p> <p>3 (書くこと) 第1学年「説明文」・図表などを用いた説明や記録の文章を書くことができる。 第2学年「意見文」・自分の立場を明確にして、意見文を書くことができる。 第3学年「批評文」・関心のある事柄について批評する文章を書くことができる。</p> <p>4 (漢字) 校内漢字検定 十級 (小学校一年程度) → 準二級 (中学校三年程度)</p>	<p>○身につける方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗唱は正確に書けるまで練習するとよい。</li> <li>・教科書を何回も読む。</li> <li>・ワークを繰り返し家庭学習する。</li> </ul> <p>☆評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間・期末テスト</li> <li>・ワーク提出</li> <li>・スピーチ</li> </ul> <p>☆年間6回校内漢字検定があります。</p> <p>1年生 8級 2年生 6級 3年生 4級の合格を目指します。</p>
数学科	<p>○本校の数学科では、以下の4つのそれぞれの領域において、次に挙げる基礎的・基本的な内容の習得を目指す。</p> <p><b>数と式</b></p> <p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正・負の数の計算ができる。</li> <li>・文字を含んだ式の計算と一次方程式を解くことができる。</li> <li>・素数を積で表すことができる。</li> </ul> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式の値を求めることができる。</li> <li>・文字式を使って説明できる。</li> <li>・特定の文字について解くことができる。</li> <li>・連立方程式を解くことができる。</li> </ul> <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根号を含む式の計算ができる。</li> <li>・式の展開ができる。</li> <li>・因数分解ができる。</li> <li>・二次方程式を解くことができる。</li> </ul> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式を立てて問題を解くことができる。</li> </ul> <p><b>図形</b></p> <p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうぎ形の弧の長さ、面積を求めることができる。</li> <li>・立体の体積と、表面積を求めることができる。</li> <li>・基本の作図ができる。</li> </ul> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の性質を利用して角の大きさを求めることができる。</li> <li>・図形の証明問題を解くことができる。</li> </ul>	<p>○身につける方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中のノートへの書き込みの充実。</li> <li>・毎回の授業の復習をする。(教科書、ノート、ワーク、小テスト等)</li> <li>・教科書、ワークの問題の繰り返し学習をする。(リトライワークの活用) ワークのA問題を確実に習得する。</li> </ul> <p>☆評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート、ワーク、自己評価カード、授業態度、宿題の提出状況、忘れ物の有無、定期テスト、単元テスト、その他のテストの状況等を総合的に評価する。</li> </ul> <p>☆年6回、校内数学検定を実施します。</p> <p>1年生 6級 2年生 4級 3年生 2級以上の合格を目標とします。</p>

	基礎・基本の内容	身につけ方・評価の方法
数 学 科	<p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角の大きさを求めることができる。</li> <li>・平行線と線分の比を利用して線分の長さを求めることができる。</li> <li>・直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> </ul> <p><b>関数</b></p> <p><b>【共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような関数関係になっているかわかる。</li> <li>・変化の割合を求めることができる。</li> <li>・座標を正しく読むことができる。</li> <li>・関数のグラフを読んだりかいたりすることができる。</li> <li>・関数の変域を求めることができる。</li> <li>・グラフの交点の座標を求めることができる。</li> </ul> <p><b>データの活用</b></p> <p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表値を求めることができる。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々事象の確率を求めることができる。</li> <li>・箱ひげ図を読み取ったり表したりすることができる。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本を調べて母集団の性質を求めることができる。</li> </ul>	
社 会 科	<p><b>【歴史】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史の時代区分ができる。</li> <li>・歴史上の主要な人物とその業績がわかる。</li> <li>・主な出来事の背景とその結果から、歴史の大きな流れを説明できる。</li> <li>・各時代の文化の特徴がわかる。</li> </ul> <p><b>【地理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀や地図の見方、使い方がわかる。</li> <li>・8地方区分と都道府県名とその位置がわかる。</li> <li>・世界の主要な国々の名前と位置がわかる。</li> </ul> <p><b>【公民】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の主要な条文が正確に読める。</li> <li>・三権の抑制と均衡のしくみについて説明できる。</li> <li>・財政のはたらきを説明できる。</li> <li>・現代の国際的な問題を説明できる。</li> </ul>	<p><b>○身につける方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の重要語句（太文字）ノートを作る。</li> <li>・授業ノート・プリントをまとめ直す。</li> <li>・歴史的な事象が起こった場所、資源の分布など白地図でまとめる。</li> <li>・地図や年表をよく見るところに貼り、こまめに確認する。</li> </ul> <p><b>☆評価の方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト、定期テスト</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・レポートなどの提出物</li> </ul>
理 科	<p><b>【1年】</b></p> <p><b>『いろいろな生物とその共通点』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の体の共通点と相違点を見だし、生物を分類できる。</li> <li>・ルーペや顕微鏡を正しく使うことができる。</li> </ul> <p><b>『身のまわりの物質』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の状態変化の規則性について説明することができる。</li> <li>・気体の性質をまとめ、説明することができる。</li> <li>・ガスバーナーを正しく使うことができる。</li> </ul> <p><b>『身のまわりの現象』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光の性質について説明することができる。</li> <li>・凸レンズを通る光の道筋を作図することができる。</li> <li>・音の正体や伝わり方などの性質を説明することができる。</li> <li>・力の性質について説明することができる。</li> </ul>	<p><b>○身につける方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配られる「ワーク」などを繰り返し活用する。</li> <li>・ノートや教科書を活用して、重要語句を身につける。</li> </ul> <p><b>☆評価の方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・レポート</li> <li>・提出物</li> </ul>

	<p>『大地の変化』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山のちがいがから成り立ちや火山噴出物について説明できる。</li> <li>・地震の発生と伝わり方について説明できる。</li> <li>・地層の特徴と地層からわかること、地層の広がりについて説明できる。</li> </ul>	
--	---	--

	基礎・基本の内容	身につけ方・評価の方法
理科	<p><b>【2年】</b></p> <p>『化学変化と原子・分子』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な原子記号・化学式・化学反応式を書くことができる。</li> <li>・質量保存の法則を説明できる。</li> </ul> <p>『生物のからだのつくりとはたらき』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物細胞と植物細胞のちがいを説明できる。</li> <li>・植物のからだのつくりと動物のからだのつくりを説明できる。</li> <li>・感覚器官についてまとめそのはたらきについて説明できる。</li> </ul> <p>『天気とその変化』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気図に書かれた記号を読むことができる。</li> <li>・雲のでき方を、上昇気流・気圧・気温・露点・飽和水蒸気量という語句を用いて説明できる。</li> <li>・日本の天気の特徴についてまとめることができる。</li> </ul> <p>『電気の世界』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オームの法則を用いて、基本的な回路の電流・電圧・抵抗を計算により求めることができる。</li> <li>・電力と発熱量の関係を説明できる。</li> <li>・回路図を描くことができる。</li> <li>・磁界についての法則を説明できる。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <p>『化学変化とイオン』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電離した状態をイオン式で表すことができる。</li> <li>・電池の原理を説明することができる。</li> <li>・中和について「酸・アルカリ」という語を使い説明できる。</li> </ul> <p>『生命の連続性』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞分裂の過程を説明できる。</li> <li>・遺伝の規則性からメンデルの法則について説明できる。</li> </ul> <p>『運動とエネルギー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録タイマーのテープから、瞬間の速さ、平均の速さを求めることができる。</li> <li>・振り子を例にして、力学的エネルギーの保存を説明できる。</li> <li>・慣性の法則を説明できる。</li> <li>・仕事と仕事率を計算によって求めることができる。</li> </ul> <p>『地球と宇宙』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転と公転について説明できる。</li> <li>・太陽系の天体の種類を説明できる。</li> <li>・日周運動と年周運動から、天体の見える方向を説明できる。</li> <li>・月の満ち欠けについて説明できる。</li> </ul> <p>『地球と私たちの未来のために』</p>	<p>○身につける方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配られる「ワーク」などを繰り返し活用する。</li> <li>・ノートや教科書を活用して、重要語句を身につける。</li> </ul> <p>☆評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・レポート</li> <li>・提出物</li> </ul>

	<p>・地球の自然環境や科学技術を知り、未来の社会のために、私たちは社会にどのようにかかわればよいか考えることができる。</p>
--	--

	基礎・基本の内容	身につけ方・評価の方法
英 語 科	<p>1年生</p> <p>(1) 自分の名前をローマ字で書くことができる。</p> <p>(2) 基本的な用語を用いて自己紹介ができる。</p> <p>(3) 複数の物を適する形で表現できる。</p> <p>(4) 家族や友人などを基本的な用語を用いて紹介することができる。</p> <p>(5) 過去にあったことや行ったことを一般動詞を用いて表現できる。</p> <p>(6) 自分や家族、友人ができることを表現できる。</p> <p>2年生</p> <p>(1) 不規則な変化をする一般動詞を使い、肯定文、否定文、疑問文の使い分けとその応答できる。</p> <p>(2) 過去の状態や気持ちを be 動詞の過去形を使って表現できる。</p> <p>(3) 予定や未来のことを表現できる。</p> <p>(4) 自分のやりたいことやなりたい職業を表現できる。</p> <p>(5) 行動の目的を表現できる。</p> <p>(6) 複数の物を比較した表現を使い分けることができる。</p> <p>(7) 「～される」や「～された」のような行為を受ける側の立場を表現できる。</p> <p>3年生</p> <p>(1) 自分や家族、友人等が経験したことを表現できる。</p> <p>(2) 自分や家族、友人等が継続して行っていることを表現できる。</p> <p>(3) 自分や家族、友人等が既に完了した行為を表現できる。</p> <p>(4) 関係代名詞の使われた英文が理解できる。</p>	<p>○身につける方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を覚えるまで書く。</li> <li>・教科書を暗唱できるくらい声を出して読む。</li> <li>・教科書の基本文を理解して自分でも書く。</li> <li>・ノートに自己表現として単元で習ったことをオリジナルの英文で書く。</li> </ul> <p>☆評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間、期末テスト</li> <li>・単語テスト</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・スピーキングテスト</li> <li>・ノート、ワークの提出</li> </ul>
音 楽 科	<p><b>【第1学年】</b></p> <p>◎課題曲の中から1曲選曲し、みんなの前で独唱できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲 「夢の世界を」 「主人は冷たい土の中に」 「校歌」</li> </ul> <p>◎アルトリコーダーの基本の運指（低ファ～高ド）をマスターし課題曲を演奏できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲 「喜びの歌」 「かっこう（A 1）（A 2）」 「オーラ リー」 「アニー ローリー」 「ラヴァース コンチェルト（A 1）」</li> </ul> <p><b>【第2学年】</b></p> <p>◎「翼をください」の自分のパートをマスターし、混声三部合唱できる。</p> <p>◎ギターの基本のコード（C G7 F Em Am）をマスターし、課題曲を演奏できる。</p>	<p>○身につける方法</p> <p><b>【歌唱】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢</li> <li>・口形</li> <li>・発声</li> <li>・ハーモニー</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習にしっかりと取り組む。</li> <li>・全体練習の中で恥ずかしがらずに大きな声で歌う。</li> </ul> <p><b>【器楽】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ARの運指</li> <li>・ギターのコード</li> </ul> </div>

・課題曲 「カントリー ロード」 「let it be」	・実技テスト  ・くり返し練習する。
---------------------------------	--------------------------

	基礎・基本の内容	身につけ方・評価の方法
音 楽 科	<b>【第3学年】</b> ◎「花」をみんなの前で独唱できる。  ◎琴の基本奏法をマスターし、課題曲を演奏できる。 ・課題曲 「さくら さくら」	<b>☆評価方法</b> ・相互評価 ・パート評価 ・琴の奏法 ・実技テスト
技 術 科	<b>1 技術分野1年</b> (1) 生活に必要な基礎的知識や技術を身につけ、CDラックができるようにする。 ・さしがねを正しく使い、材料へのけがきを正確にできるようにする。 ・のこぎりを正しく使い、正確なのこぎりびきができるようにする。 ・げんのうを正しく使い、正確な釘打ちができるようにする。 (2) コンピュータの基本操作を身につける。 ・ワード・パワーポイントを使い、アルバム作成ができるようにする。  <b>2 技術分野2年</b> (1) エネルギー変換のしくみを理解し、簡単な作品を製作できるようにする。 ・エネルギー変換を利用したものづくりができる。 (2) 作物を栽培して生活に生かせるようにする。 ・地域の環境に目を向けた栽培ができるようにする。 ・作物の栽培ができるようにする。  <b>3 技術分野3年</b> (1) 身の回りにあるコンピュータが使われている機器を調べ、制御について理解する。 ・コンピュータの構成を理解し、目的に合ったプログラムでロボットを制御できるようにする。 (2) 情報モラルのある快適な生活をくふうできるようにする。 ・これからの高度情報通信社会について理解する。	○大切なポイント ・材料の基準面とさしがねをしっかりと密着させる。 ・切断する材料によってひく角度を変える。 ・釘に正確に当てる。  ・各ソフトウェアの基本的な機能を使い慣れる。  ・ペーパークラフトによる実習を行う。  ・栽培の手順に従って、栽培を行う。  ・コンピュータの計測・制御の基本を良く理解し、実施のロボットを動かしてみる。 ・情報モラルについて現状を踏まえた学習を行う。
家 庭 科	<b>自立を目指し、人や物と関わりながら学ぶ</b> <b>1 食生活</b> 第1学年 健康的な食生活について理解し調理ができる 第2学年 伝統的な食文化を知り郷土料理を作ることができる <b>2 住生活</b> 第1学年 健康で安全な住まいについて考え、快適な生活を工夫できる  <b>3 衣生活</b> 第2学年 日常着の活用、手入れの方法を理解する 布を用いた作品の製作を通して技能を磨く  <b>4 家族・家庭生活</b> 第2学年 自分の成長（自分史）を知り、家庭や地域の関わりや幼児の生活について学ぶ 第3学年 身近な材料でおもちゃを製作し、幼児とふれあい成長について考える	○身につける方法 ・実習・実験を通して、体験的に学習する。  ・家庭でのお手伝いを通して、実践力の向上に努める。  ・実生活と知識を結びつけて考え、自立する力を身に付ける  <b>☆評価方法</b> ・期末テスト ・授業・実習・実験の

	<p>5 消費生活と環境 第3学年 商品の選択、購入について理解を深め、消費者としての自立を促す</p>	<p>取り組みの様子 ・プリント・ノート・ 作品の提出</p>
	<p>基礎・基本の内容</p>	<p>身につけ方・評価の方法</p>
<p>保 健 体 育 科</p>	<p>体育編 (体づくり運動) 自己の体力を知り、高める方法を理解し実践することができる。 (陸上) 短距離走では、正しいフォームで全力で走り抜けることができる。 長距離走では、自己の体力を最大限に発揮し、ペースを考え走り ることができる。 (器械運動) 壁倒立が10秒以上でき、マット運動では倒立前転がスムーズに できる。 跳び箱では、切り返し系・回転系の技ができる。 (球技)「バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、サ ッカー」 各種目のルールや競技方法を理解し、基本的な技能を応用してゲ ームや試合ができる。 (武道)「柔道」 礼儀作法やルールを理解し、基本技を身に付けることができる。 保健編 (1年)「健康な生活と病気の予防」「心身の発達と心の健康」 について、考えたり、調べたりしながら、正しい知識を身に付け ることができる。 (2年) 「健康な生活と病気の予防」「傷害の防止」について、 考えたり、調べたりしながら、正しい知識を身に付けることがで きる。 (3年) 「健康な生活と病気の予防」・「健康と環境」につい て、考えたり、調べたりしながら、正しい知識を身に付けること ができる。</p>	<p>・腕の振り、足の運び方 スタートダッシュ ・中間疾走の姿勢 ・フィニッシュまでをしっ かり意識する。 ・走る姿勢、ペース配分 評価・タイムの伸び ・強く踏み切り、体をま るめてバランスを意識 して着地する。 ・ボールに数多く触れる。 周囲をよく見る。ルー ルをしっかり理解する。 評価・個人技能がゲーム に活かされているか。 ・各礼法を覚える。 評価・礼法や基本技をみ につけている。 ・教科書・学習カードを 使って各内容をしっかり 理解する。 評価方法 ・定期テスト</p>
<p>美 術 科</p>	<p>【第1学年】 ○文字のデザイン「レタリング」 (1) 明朝体が描ける。 (2) ゴシック体が描ける ○スケッチ 見たり、想像したりしたことをスケッチできる。 ○彩色 (1) アクリル絵の具の使い方を身につけることができる。 (2) 混色の知識を深めることができる。 【第2学年】 ○「あかりのデザイン」 カッターやペンチなど安全に使用することができる。 表現に合った素材を選択できる。 【第3学年】 ○「光に気持ちを込めて」 ・写真を見てカメラの高さ(視点の位置)を理解できる。 ・自分の思いを、様々な描写方法を選択し表現できる。</p>	<p>○身につけ方 ・正方形の枠の中に定規 を使って書く。 ・横線、縦線の太さに注 意する。 ・誰に、何を伝えたいの か考える。 ・比較して物を見るよ うに意識する。 ・正しい使い方を理解し、 けがをしないよう心が ける。 ☆評価の方法 ・作品を完成させ必ず提 出する。</p>

